

# モリノワDiary

## チェーンソー作業に 防護が必要な事を知っていますか！

義務化になっている防護もあるんです

何となく見慣れているのがヘルメット、防護メガネ・ゴーグル、安全靴などですが、チェーンソーはエンジンやモーター動力で稼働する刃物です。これらの電動工具で誤って人体を切ってしまうと大怪我につながり、死亡事故にもつながります。

近年安全意識は高まり、各メーカーから安全防護のプロテクション用品がラインナップされています。これらの製品は、チェーンソーの刃を止めて人体を守るための性能を装備しています。厚手の手袋、安全靴、厚手の作業服だけでは十分ではありません。では、プロテクション商品を紹介します！

ズボン：チャプス（2019年8月から作業者に義務化）

上着：プロテクションジャケット（装着は推奨ですが左手を防護）

手袋：プロテクショングローブ（左手拳を防護）

その他：ローガーブーツ



プロテクショングローブ



— プロテクションの性能・規格 —

- EN ISO11393-4:2019 クラス1 (20 m/s)
- EN388:2016

対象箇所を20m/s（クラス1）のチェーン速度で切断して刃を止めることができる性能です。この規格に定める防護性能を有する、ガイドライン適合した製品を選びましょう。

表示例

ボランティアやDIY作業でもチャプスやグローブなどのプロテクション用品を使用するようにお勧めします。



チェーンソーの刃に特殊防護材が絡みつくことで刃が停止され、足や手の切断を防ぐ構造。この特殊防護材が、ズボン、上着、手袋に縫い込まれています。

## ワンポイント アドバイス

森林ボランティアを行う際には、熱中症に気をつけましょう。

## 熱中症対策について

●熱中症を防ぐためには

### ① 暑さを避けましょう。

暑い日は無理をしない、適宜休憩する等、行動の工夫をしましょう。また、天気予報や暑さ指数（WBGT）を参考にして、外出や行事の日時を検討しましょう。

### ② こまめに水分補給をしましょう。

のどが乾く前に水分補給をしましょう。大量の発汗がある場合には、経口補水液やスポーツドリンク等が最適です。体温を下げるためには、汗をしっかりとかくことが重要です。汗の原料となる水分や塩分を適切に補給する必要があります。また、5度～15度の適度に冷たい水であれば、冷却効果も大きくなります。

### ③ 急に暑くなる日に注意しましょう。

熱中症は例年梅雨入り前の5月頃から発生し、梅雨明けの7月下旬から8月上旬に多発する傾向があります。

### ④ 各人の体力や体調を考慮しましょう。

個人の体調や体力にあわせたペースを守らせ、無理をさせないようにしましょう。

### ⑤ 集団生活の間ではお互いに配慮しましょう。

熱中症の予防には、個人ごとの努力とともに集団生活におけるお互いの配慮や注意も必要です。

### 経口補水液の作り方

水 500ml

砂糖 20g  
(ペットボトルのキャップ すりきり4杯)

塩 1.5g  
(キャップ1/3杯)

お好みで  
レモン汁を少々

くわしくは群馬県ホームページをご覧ください  
(<https://www.pref.gunma.jp/page/2572.html>)

